宇治拾遺物語「児のそら寝」　一問一答チェック集

問題用

【一】重要語句・文法

1	「児ありけり」に助詞を補い、現代語訳しなさい。	
2	「あり」の活用の種類と活用形を答えなさい。	
3	「かいもちひせむ」に助詞を補い、意味を明確にしなさい。	
4	「心寄せに聞く」とは、どのような様子か。	
5	「さりとて」の意味を答えなさい。	
6	「わろかり」の活用形と終止形を答えなさい。	
7	「念じて」の意味を答えなさい。	
8	「たてまつる」「たまふ」は、どのような働きをする語か。	
9	「いざ、かいもちひせむ」の「む」の意味を答えなさい。	

【二】本文の展開をつかむ

10	児が「心寄せに聞」いたのは、どのような話か。	
11	「寝ざらむも…と思ひて」の主語を答えなさい。	
12	児はなぜ「寝たるよし」をしたのか。	
13	「出で来る」とは何が「出で来る」のか。	
14	「すでにし出だしたる」の動作主を答えなさい。	
15	「ひしめき合ひたり」という様子から、児は何を判断したか。	
16	「さだめておどろかさむずらむ」とは、どういう意味か。	
17	「おどろかせたまへ」を現代語訳し、誰の誰に対する言葉か答えなさい。	

宇治拾遺物語「児のそら寝」　一問一答チェック集

問題用

【三】児の心情を読み取る

18	児はなぜ「うれし」と思ったのか。
19	児はなぜ「いま一声呼ばれていらへむ」と思ったのか。
20	「待ちけるかともぞ思ふ」とあるのは、なぜ困るのか。
21	「起こせかし」の意味を答えなさい。
22	「食ひに食ふ」とはどのような食べ方か。また、誰の行動か。
23	「えい」の意味と、何への返事かを答えなさい。

【四】仕上げチェック

24	本文中の擬音語を一つ答えなさい。
25	第一段落の児の心中語を答えなさい。
26	第二段落の児の心中語を二つ以上答えなさい。
27	僧たちはなぜ「笑ふこと限りなし」だったのか。
28	児と僧たちの日ごろの関係を説明しなさい。

宇治拾遺物語「児のそら寝」　一問一答チェック集

解答用

【一】重要語句・文法

1	「児ありけり」に助詞を補い、現代語訳しなさい。	児（が）ありけり。児がいた。
2	「あり」の活用の種類と活用形を答えなさい。	ラ行変格活用・連用形
3	「かいもちひせむ」に助詞を補い、意味を明確にしなさい。	かいもちひ（を）せむ。ぼたもちを作ろう。
4	「心寄せに聞く」とは、どのような様子か。	特定のことに関心を寄せ、聞き耳を立て期待して聞く様子。
5	「さりとて」の意味を答えなさい。	そうかといって。
6	「わろかり」の活用形と終止形を答えなさい。	ク活用の連用形（補助活用）。終止形は「わろし」。
7	「念じて」の意味を答えなさい。	我慢して。
8	「たてまつる」「たまふ」は、どのような働きをする語か。	「たてまつる」＝謙譲の補助動詞（受け手である児への敬意）、「たまふ」＝尊敬の補助動詞（動作主である児への敬意）。どちらも僧から児への敬意。
9	「いざ、かいもちひせむ」の「む」の意味を答えなさい。	意志（「いざ」と誘う場面のため、勧誘としてもよい）。

【二】本文の展開をつかむ

10	児が「心寄せに聞」いたのは、どのような話か。	これからかいもちひを作って食べるという話。
11	「寝ざらむも…と思ひて」の主語を答えなさい。	児。
12	児はなぜ「寝たるよし」をしたのか。	かいもちひができるのを待って寝ないでいるのはよくないと思ったから。
13	「出で来る」とは何が「出で来る」のか。	かいもちひ。
14	「すでにし出だしたる」の動作主を答えなさい。	僧たち。
15	「ひしめき合ひたり」という様子から、児は何を判断したか。	僧たちがかいもちひを作り終えた様子だと判断した。
16	「さだめておどろかさむずらむ」とは、どういう意味か。	きっと僧たちが自分（児）を起こそうとするだろう。
17	「おどろかせたまへ」を現代語訳し、誰の誰に対する言葉か答えなさい。	「お目覚めください」。僧の児に対する言葉。

宇治拾遺物語「児のそら寝」　一問一答チェック集

解答用

【三】児の心情を読み取る

18	児はなぜ「うれし」と思ったのか。	寝たふりをして待っていたところ起こしてくれ、いよいよぼたもちが食べられると思ったから。
19	児はなぜ「いま一声呼ばれていらへむ」と思ったのか。	すぐ返事すると、寝たふりをして待っていたことがばれてしまうと思ったから。
20	「待ちけるかともぞ思ふ」とあるのは、なぜ困るのか。	寝たふりをして待っていたことがばれるのは恥ずかしいから。
21	「起こせかし」の意味を答えなさい。	起こしてくれよ。
22	「食ひに食ふ」とはどのような食べ方か。また、誰の行動か。	脇目もふらず、ひたすら食べること。僧たちの行動。
23	「えい」の意味と、何への返事かを答えなさい。	「はい」。僧の最初の呼びかけ「おどろかせたまへ」への、ずっと後になってからの返事。

【四】仕上げチェック

24	本文中の擬音語を一つ答えなさい。	ひしひしと。（僧たちが食べる音を表す）
25	第一段落の児の心中語を答えなさい。	「さりとて、し出ださむを待ちて寝ざらむもわろかりなむ」。
26	第二段落の児の心中語を二つ以上答えなさい。	「さだめておどろかさむずらむ」「うれし」「あな、わびし」「いま一度起こせかし」。
27	僧たちはなぜ「笑ふこと限りなし」だったのか。	児がかいもちひを食べたさに負け、寝たふりを通せず、間の抜けたタイミングで返事をしたから。
28	児と僧たちの日ごろの関係を説明しなさい。	児は僧たちから可愛がられる存在で、僧たちも児を親しみをもって扱っている。